

平成25年度病虫害発生予察予報第6号(9月)

平成25年9月3日
高知県病虫害防除所

《予報の概要》

作物名	病虫害名	予想発生量
水 稲 ＜普通期稲＞	いもち病(穂いもち) 紋枯病 ごま葉枯れ病 ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ セジロウンカ トビイロウンカ フタオビコヤガ コブノメイガ 斑点米カメムシ類	やや多 並 やや多 多 並 並 並 やや少 やや多 並
カンキツ	そうか病 黒点病 かいよう病 ミカンハダニ カメムシ類	やや少 並 少 多 少
施設野菜類	ハスモンヨトウ タバコガ・オオタバコガ コナジラミ類 ミナミキイロアザミウマ	並 やや多 やや多 やや多

I 気象予報(高松地方气象台 8月31日発表)

＜予想される向こう1か月の天候＞ 8月31日から9月30日

平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

向こう1ヶ月の降水量は、多い確率60%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は平年並の確率50%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

＜確率＞

(単位:%)

期 間	要 素	予報対象地 域	低 い (少ない)	平 年 並	高 い (多い)
1か月	気 温	四国地方	30	30	40
	降 水 量		10	30	60
	日照時間		40	40	20
1週目	気 温	四国地方	20	50	30
2週目			30	40	30
3～4週目			20	40	40

＜予報の対象期間＞

1か月 :8月31日(土)～ 9月30日(月)

1週目 :8月31日(土)～ 9月 6日(金)

2週目 :9月 7日(土)～ 9月13日(金)

3～4週目: 9月14日(土)～ 9月27日(金)

II 病虫害発生予想

1. 水稻(普通期稲)の病虫害

1) いもち病(穂いもち)

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多

根 拠

- (1)8月下旬の巡回調査では、県中央部～中西部でやや少～並、西部では多発生で、一部のほ場で進展型病斑も見られた。
- (2)向こう1か月の気象予報によると、降水量が多いと予想されることから、増加傾向で推移することが予想され、今後の天候によっては、穂いもちの発生も懸念されることから、発生動向に十分注意を要する。

対 策

- (1)気象や発生状況に注意し、進行型病斑を認めたら収穫前使用日数に留意し、まわりへの飛散防止に努めながら速やかに薬剤散布を行う。

2) トビイロウンカ

予 想 発生時期:並 / 発生量:並

根 拠

- (1) 8月の巡回調査では、県中央部で発生面積は平年に比べて多発生であるが、高密度の発生ではない。
- (2)向こう1か月の気象予報は増殖に好適な条件であると思われるが、現状の発生状況から今

後急激な増加はないと予想される。しかし、九州地方では全県で注意報・警報が出ており、今後の発生動向には十分注意が必要と思われる。

対 策

- (1) 常発地帯では発生に注意し、増加の兆候が認められたときは、周辺作物への飛散防止に努めながら、使用時期に注意して薬剤防除を行う。

3) 斑点米カメムシ類

予 想 発生時期:並 / 発生量:並

根 拠

- (1) 8月中下旬のすくい取り調査では1ほ場当たり平均虫数3.6頭で、少発生であるが、全栽培面積の約54%のほ場で発生しており、またクモヘリカメムシやミナミアオカメムシなどの大型カメムシが優占種であることから、斑点米の発生が懸念される。
- (2) 向こう1か月の気象予報では曇雨天が多い予想であるが、温度が高い状態が続くことから、やや増加傾向で推移するものと思われる。

対 策

- (1) 斑点米の発生を防ぐため、発生を認めたら周辺作物への飛散防止に努めながら使用時期に注意して薬剤防除を行う。

2. カンキツの病害虫

1) 黒点病

予 想 発生時期:並 / 発生量:並

根 拠

- (1) 巡回調査では、県全域の温州みかん、中晩柑類ともに発生が認められるが、いずれの地域でも平年並の発生である。
- (2) 向こう1か月の気象予報によると、曇雨天日が多いと予想されており、今後は増加傾向で推移すると予想される。

対 策

- (1) 密植園の間伐、老木の更新、防風林の整備等を行い、次年度の感染源となる枯枝の発生ができるだけ少なくなるように管理する。
- (2) 前回の防除からの累積雨量が 250mm を超すか、25日以上経過すれば次の薬剤散布を行う。

2) ミカンハダニ

予 想 発生時期:並 / 発生量:多

根 拠

- (1) 巡回調査では、発生面積は平年並～やや多で、程度の高い地域も見られる。
- (2) 向こう1か月の気象予報では曇雨天が多い予想であるが、温度が高い状態が続くことから、増加傾向で推移すると予想される。

対 策

- (1) この時期のミカンハダニは 30%の寄生葉率を目安に、薬剤抵抗性を防ぐために違う種類の薬剤をローテーションで使用する。その際は、周辺作物への飛散防止に努めながら、かけむらがないように丁寧に散布する。

県民の皆様に提供する農作物の病虫害防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

1. **病虫害防除所ホームページ**（こうち農業ネット）：<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/?sid=2016>
 - ①病虫害発生予察月報、病虫害発生予察予報
 - ②病虫害発生予察注意報、病虫害発生予察警報、病虫害発生予察特殊報
 - ③病虫害発生予察技術資料
 - ④新しく問題となっている病虫害 etc.
2. **こうち農業ネットサービス**※ ※当方で提供する情報の閲覧は無料です（通信料は別途必要となります）。
 - ・携帯電話を使った病虫害関連情報（どなたでも利用可能です）
 - <http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/i/>（Iモード）
 - トップメニュー→地域情報→タウンガイド・行政→高知県庁メニュー→農業情報：（ezweb）
 - 四国メニュー→タウン情報・行政→高知県庁メニュー→農業情報：（ヤフー）
 - ①病虫害発生予察情報（概要）